

第9期海南市介護保険事業計画 におけるアウトカム指標の導入について

令和7年2月



1. 目的

住み慣れた地域において高齢者の生活を支えていく地域包括ケアシステムを構築していくためには、その地域の実情に応じた取組が必要不可欠となります。

国は、平成29年介護保険制度改正により、「保険者機能の抜本強化」として、自治体において「データに基づく課題分析と対応」、「適切な指標による実績評価」等を位置づけています。

※「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」
(平成29年6月2日付け厚労省老発0602第3号 交付通知文)

このため、本市においても第9期介護保険事業計画の実行性を高め、目標を達成していくため、計画の進捗状況を把握し、評価することによって次の活動へ反映させていくことが重要であることから、5つの基本目標において、目標の達成度や施策の効果について分析・評価を行うための指標を新たに設定します。

設定した**指標**については、第9期最終年度となる令和8年度(2027年)に評価を行うこととします。

2. 評価指標の種類

指標には、「アウトプット指標」「アウトカム指標」の2種類のタイプがあります。

①アウトプット指標(活動指標) ※資料2

事業を実施することによって直接発生した結果や事業量(アウトプット)を表す指標(毎年度の評価)

働きかける主体(自治体)に起きること＝結果

②アウトカム指標(結果から得た成果) ※資料3

施策・事業を推進した結果、市民や地域等に対してどのような効果・成果が上がったかを表す指標(計画最終年度の評価)

働きかけた対象(住民・地域等)に起こる変化＝成果

例) 多職種連携

○研修会を毎年実施
医療や介護専門職が参加
100名以上

アウトプット



(初期)	(中間)	(最終)
連携が円滑になった	質の高いサービスの提供	安心して暮らせる

アウトカム

3. 評価指標設定の考え方

評価指標を設定するにあたり、施策の成果である「アウトカム指標」が重視されるべきではありますが、データの基となるニーズ調査や介護サービス事業所調査などは3年に1回の間隔で実施されていることなどから、毎年数値の把握ができないといった課題があります。

このため、既存の資料やデータをベースに、「アウトプット指標」も組み合わせて分析・評価を行ってまいります。

4. 評価指標の設定

国は、市町村が効果的に介護保険事業を行っていくために、汎用的なロジックモデル(施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの)が示されており、データを全国平均や都道府県平均と比較可能なかたちで出力できるようにした分析ツールなども併せて提供されております。

今回、これらを参考に、別表「第9期計画ロジックモデル」を作成し、第9期介護保険計画に設定した評価指標を整理を行っております。

各基本目標に対するアウトカム評価

【基本目標1】地域包括ケアシステムの深化・推進の評価指標(1)

地域包括支援センターが、地域包括ケアシステムの中核的な機関としての機能を果たしている。

	方向性	R5	R8	R11
地域包括支援センターの認知度(%)		39.2		

(出典) 海南市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書

	方向性	R5	R6	R7	R8
事業所のケアマネジャーから包括への相談件数(件)		42	45		

(出典) 海南市高齢介護課 資料(各年度末時点) R6は見込

在宅医療と介護の連携や在宅医療推進のための環境づくりが進んでいる。

	方向性	R5	R6	R7	R8
入退院支援において、病院との連携がスムーズに行えていると感じているケアマネジャーの割合(%)		—	94		

(出典) 海南・海草地域「退院支援ルール」に係るメンテナンス調査

各基本目標に対するアウトカム評価

【基本目標1】地域包括ケアシステムの深化・推進の評価指標(2)

在宅医療と介護の連携や在宅医療推進のための環境づくりが進んでいる。

	方向性	区分	R5	R6	R7	R8
自宅死の割合(%)		海南市	17.9			
		和歌山県(参考)	17.9			
		全国(参考)	17.4			

(出典)介護保険「海南市(和歌山県)ワークシート」分析ツール(第2.1版)(一般財団法人 医療経済研究機構)
人口動態統計(厚生労働省) R5:R4年度

高齢者自身が担い手として活動し、地域で支え合う関係ができている。

	方向性	R5	R6	R7	R8
第2層協議体の開催回数(会議・活動数)(件)		43	94		

(出典)海南市高齢介護課 資料(各年度末時点) R6は見込

各基本目標に対するアウトカム評価

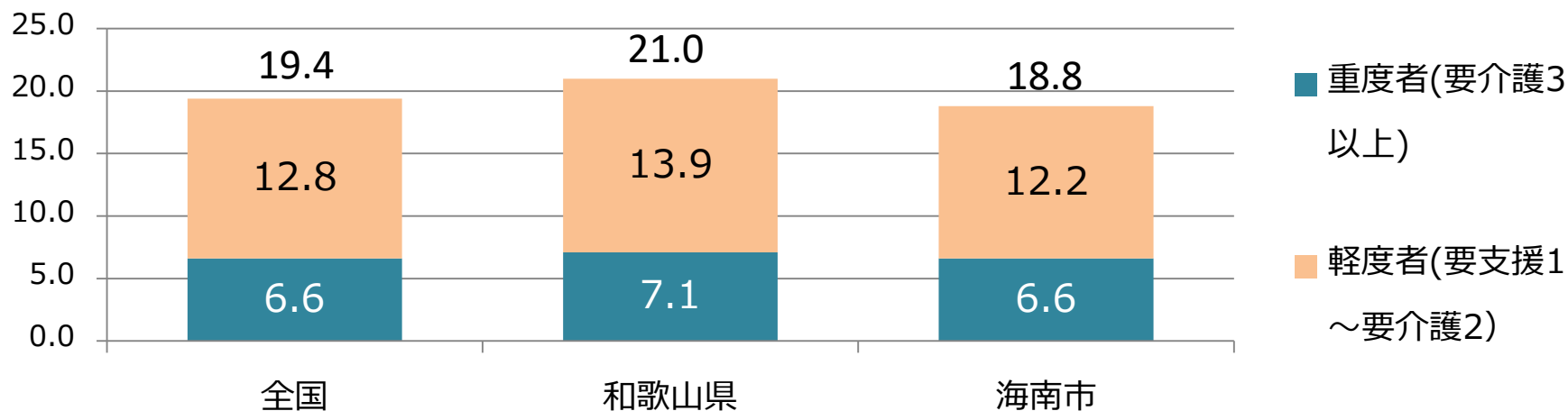
【基本目標2】介護予防・健康づくりの充実・推進の評価指標(1)

介護予防に関心を持ち、介護予防事業に参加する市民が増えている。

	方向性	R5	R6	R7	R8
要介護認定を受けていない後期高齢者割合(%)	➡	33.2	32.6		

(出典) 海南市高齢介護課 資料 (各年9月末現在)

	方向性	R5	R6	R7	R8
調整済み認定率(%)	⬇	18.8			



(出典) 地域包括ケア「見える化システム」(厚生労働省)

各基本目標に対するアウトカム評価

【基本目標2】介護予防・健康づくりの充実・推進の評価指標(2)

元気なうちから主体的・継続的に介護予防に取り組んでいる市民が増えている。

	方向性	区分	R5	R6	R7	R8
通いの場への参加率 (%)		海南市	6.8			
		和歌山県(参考)	3.9			
		全国(参考)	2.3			

(出典)介護保険「海南市(和歌山県)ワークシート」分析ツール(第2.1版) (一般財団法人 医療経済研究機構)
「介護予防・日常生活支援総合事業(地域支援事業)の実施状況に関する調査(厚労省) R5:R4年度

	方向性	区分	R5	R6	R7	R8
新規認定を受けた者の 平均年齢(歳)		海南市	82.9			
		和歌山県(参考)	81.6			
		全国(参考)	81.7			

(出典)地域包括ケア「見える化システム」(厚生労働省)
「介護保険総合データベース」(令和6年8月10日時点データにて集計)

各基本目標に対するアウトカム評価

【基本目標3】認知症対策の推進の評価指標

認知症に対する正しい理解が深まっている。

	方向性	区分	R5	R6	R7	R8
認知症サポーター数 (人口千人当たり)(人)		海南市	173.8			
		和歌山県(参考)	117.9			
		全国(参考)	109.2			

(出典)介護保険「海南市(和歌山県)ワークシート」分析ツール(第2.1版) (一般財団法人 医療経済研究機構)
「サポーターの養成状況」(全国キャラバン・メイト連絡協議会)及び「住民基本台帳に基づく人口、人口動態
及び世帯数調査」(総務省)をもとに算出 R5:R6年3月末

身近な地域で相談し、集える場所が確保され、関係機関の連携による地域全体で支える体制が
できている。

	方向性	R5	R6	R7	R8
認知症について連携が図られていると感じる ケアマネジャーの数(人)		—			

※第10期計画策定にむけて、海南市居宅介護支援員連絡協議会でアンケートを実施

各基本目標に対するアウトカム評価

【基本目標4】高齢者が安心して暮らせるための環境整備の評価指標(1)

中等度の要介護状態になっても、心身の状況に応じた適切なサービスを受けることができ、本人の希望に沿った暮らしを継続できている。

	方向性	区分	R5	R6	R7	R8
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護 (85歳以上人口1万人あたり 事業所数)		海南省	5.3			
		和歌山県(参考)	1.3			
		全国(参考)	2.0			

	方向性	区分	R5	R6	R7	R8
(看護)小規模多機能型 居宅介護 (85歳以上人口1万人あたり 事業所数)		海南省	10.5			
		和歌山県(参考)	10.2			
		全国(参考)	10.0			

(出典)介護保険「海南省(和歌山県)ワークシート」分析ツール(第2.1版) (一般財団法人 医療経済研究機構)
「介護サービス情報の公表システムデータのオープンデータ」(厚生労働省)から事務局で集計したもの及び
「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」(総務省)を基に算出 R5:R6.1.1現在

各基本目標に対するアウトカム評価

【基本目標4】高齢者が安心して暮らせるための環境整備の評価指標(2)

中等度の要介護状態になっても、心身の状況に応じた適切なサービスを受けることができ、本人の希望に沿った暮らしを継続できている。

	方向性	区分	R5	R6	R7	R8
要介護3以上の者のうち 在宅サービス利用者の 割合(%) (85歳以上人口1万人あたり)		海南市	45.9			
		和歌山県(参考)	49.6			
		全国(参考)	45.1			

	方向性	区分	R5	R6	R7	R8
要介護1・2の者のうち 在宅サービス利用者の 割合(%) (85歳以上人口1万人あたり)		海南市	77.5			
		和歌山県(参考)	75.5			
		全国(参考)	73.0			

(出典)介護保険「海南市(和歌山県)ワークシート」分析ツール(第2.1版) (一般財団法人 医療経済研究機構)
「介護サービス情報の公表システムデータのオープンデータ」(厚生労働省)から事務局で集計したもの及び
「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」(総務省)を基に算出 R5:R6.1.1現在

各基本目標に対するアウトカム評価

【基本目標4】高齢者が安心して暮らせるための環境整備の評価指標(3)

高齢者の権利が守られ、尊厳ある暮らしが送れるとともに、虐待を見聞きしたときの相談先が認知されている。

	方向性	R5	R6	R7	R8
権利擁護センターの相談件数(件)		—	—		

※権利擁護センターはR7より本格稼働となるためR6実績はなし

権利擁護センターは、「成年後見制度の利用の促進に関する法律」に基づき、判断能力に問題がある高齢者・障害者の「権利擁護」と「意思決定支援」を行い、地域社会に参加できるようにすることを目的に設置するものです。

地域に参加し、自分らしく、自立した生活ができている。

	方向性	R5	R6	R7	R8
外出支援ボランティアの利用者数(人) (延べ人数)		—	81		

(出典) 海南市社会福祉協議会 資料 R6は見込

各基本目標に対するアウトカム評価

【基本目標5】介護給付の適正化に向けた取組の推進(1)

安心して必要な介護保険サービスを利用できている。

	方向性	R5	R6	R7	R8
認定申請から決定までの日数(新規申請)		31.7	31.6		

(出典)海南市高齢介護課(認定審査会システム) R6は見込

サービス利用希望者の状態に合った質の高いサービス提供が行われている。

	方向性	R5	R6	R7	R8
住宅改修・福祉用具購入・福祉用具貸与における利用者の満足度(%)		—	—		

※住宅改修・福祉用具購入等の現地調査時に聞き取りを実施

各基本目標に対するアウトカム評価

【基本目標5】介護給付の適正化に向けた取組の推進(2)

制度に則した上での質の高いサービス提供が行われている。

	方向性	R5	R8	R11
受けている介護保険サービスに満足している利用者の割合(%)		—		

※第10期計画策定にむけて、在宅介護実態調査にアンケート項目を追加